

## 小学校教育課程に英語を導入する意義

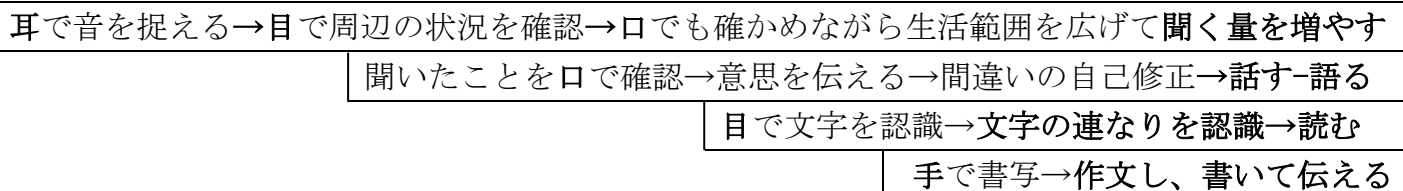
《英語を使いながら、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うために》  
「外国語習得の苗床づくり」

### ◎ことばの獲得は、音から文字へ

義務教育期間の英語を使い合う活動内容を、子どもの成長に合わせて 4 つの段階に分けて考える。

- |                               |                        |
|-------------------------------|------------------------|
| 第 1 期：1 年生の 4 月から 3 年生の 3 月まで | 6 歳から 9 歳まで(1~3 年生)    |
| 第 2 期：4 年生の 4 月から 3 月まで       | 9 歳から 10 歳まで(4 年生)     |
| 第 3 期：5 年生の 4 月から 6 年生の 3 月まで | 10 歳から 12 歳まで(5~6 年生)  |
| 第 4 期：小学校卒業、そして中学の英語教育、独り立ち   | 12 歳から 15 歳まで(中学 3 年間) |

小学校段階の授業で試みられていること



### 英語の音 とは？ 発音？

子音 母音 ストレス アクセント リズム イントネーション ライム

聞き取る力

4 技能すべての基盤となる「音を捉え、そこからイメージを構築する力」

聞かせなければならない「音」

使われる場面にふさわしい「音」

英語のルールに準じた「音」

聞き取りを容易にする指導技術

その指導技術をサポートしてくれる教材

指導力を補う教材 紙媒体の教材・音声教材・デジタル化された教材

教材の選別基準

子どもの発達段階に適合しているもの

子どもが少しずつ背伸びして、運用能力を高められるもの

子どもが日常生活で経験する、現実味のある場面を提供してくれるもの

子どもの思考力を刺激するもの

子どもの言葉への気付きを促しやすいもの

子どもの自律的学習を促すもの

異文化対応能力の芽を育む素材を扱っているもの

指導者の英語力をサポートするもの

受動的な習得を支えるもの：聞いて(音源)見て(テキストのイラストと英文)確認できる

能動的な習得：聞き取れたら、真似をし、記録(Workbook など)し自分で判断して発信する

参考資料：「子どもと共に歩む英語教育」pp.56-7

外国語習得における受動的習得から能動的習得へ向かう言語運用能力【4 技能+thinking】

『ぼーぐなん教材を使った指導順序 ～「音」の獲得から文字認識へ～』

使用教材タイトルをイカのように略記してある。

Action=English in Action (Ls.1～40 の内容：「子どもと共に歩む英語教育」 pp.78～81 参照)

Green Book= English in Wonderland; Red & Blue Book= Welcome to Wonderland

※r(receptive)=受動的に聞いて分かる語 p(productive)=能動的に使おうとする語

学齢 数字=語彙数	主な活動	教具	テキスト	期待する伝達能力
<b>幼児期</b> ----- <b>r300&gt;</b> <b>p 50</b> ※	手遊び 身振りをつけた歌 子どもの生活に即した Q&A 外来語を中心とした Q&A ゲーム 絵本の読み聞かせ 視聴覚教材の視聴	ワークシート 動詞カード BINGO カード ジグソー・パズル <i>Red Book</i> デジタル版 <i>Blue Book</i> デジタル版 身の回りにある実物 絵本 身近にある実物に印刷された文字	イラストで伝達 内容を明示 デッサンのしつかりした絵本 子ども所有の絵本	聞いていると分かる。 表情 身振り 頷き、首振りで Yes/No イントネーション 歌と身振り 内容語の聞き取り 単語での意思伝達
<b>1年生</b> ----- <b>r500&gt;</b> <b>p 50</b>	歌 お話を聞く 体を動かすゲーム カルタ取り 絵本の読み聞かせ 絵本を眺める 視聴覚教材の視聴	<i>Red Book</i> デジタル版 おもちゃ類 BINGO カード ABC カード ジグソー・パズル 大型ポスター 着せ替えシール 絵本 身近にあるものに印刷された文字	<i>Red Book</i> ワーク・シート	母語の生活語彙が増える。 聞いて分かったことを真似る。 発話の声も、少しずつ明瞭になってくる。 色塗り、書写を楽しむことができる。(活動の主要な部分ではない)
<b>2年生</b> ----- <b>r500&gt;</b> <b>p100</b>	体を動かす歌 手遊び歌 ライム カルタ取り 身近な題材を中心に Q&A 英語を使い合うゲーム ABC カード並べ ワークシートの作業 雑誌やチラシ広告などの印刷物の中に、アルファベット文字を探す 絵本の読み聞かせ 視聴覚教材の視聴	BINGO カード ABC カード ジグソー・パズル ミニ ABC Book Alphabet を扱っているワークシート 大型ポスター 着せ替えシール <i>Blue Book</i> デジタル版 絵本 婦人向け・子供向けの雑誌の写真など チラシ広告など	<i>Blue Book</i> ワーク・シート 自分で作った ミニ ABC Book	足腰がしっかりしてくるので、体を動かしながら歌ったり、ゲームをすることができる。 発声がしっかりしてくるので、外来語など耳慣れた単語を聞き取りやすく発音できるようになる。 歌詞をしっかり発音して歌えるようになる。

<p>3年生 ----- r600&gt; p150</p>	<p>ABCカード並べ NHKなど並べる ワークシートのミニABC Bookを作り、アルファベット文字を書写する ゲーム化した歌 手遊び歌 ライム お話を聞く 絵本の読み聞かせ 視聴覚教材 『えいごリアン 2000』の視聴</p>	<p>ABCカード Bingoカード Countingカード ワークシート ミニABC Book ジグソー・パズル 大型ポスター <i>Green Book</i> デジタル版 絵本 『えいごリアン 2000~2001』のゲーム</p>	<p><i>Green Book</i> ワークシートで描き込んだもの、色を塗ったものなど、自分で作りあげたものを綴じて、テキストと同じように扱う。</p>	<p>ただ真似て発話するだけでなく、自分の好み、自分の持ち物、自分の気持ちなどをはっきり表現するようになる。 2年生までに扱ったものより複雑な手遊び歌、ゲーム、Q&amp;Aなどを楽しむことができる。 国語の授業で、ローマ字指導を受ける。 英語らしい音で表現するように注意を促す。</p>
<p>4年生 ----- r1000&gt; p200</p>	<p>ABCの歌 名前など初歩的な書写 Action 1 テキストの英語表現に慣れさせ、文字化されているものにも興味を持たせて、レイアウトからルールを見つけ出すように促す 自己紹介を口頭で行えるようにする 簡単な英文で書く 3ヒント・ゲーム</p>	<p>A1;Ls.1-4 ABCカード Bingoカード(裏の英語綴りも活用する) Matchingカード Countingカード</p>	<p><i>Action 1</i> : 【10 Lessonsで簡単な自己紹介ができ、友だちの自己紹介も理解できるようにする】 <i>Workbook 1</i> ABCの本(6月から9月に配布し、後半は自学自習として、2~3か月で仕上げる) <i>WORD BOOK</i></p>	<p>経験している英語表現の種類が増えることで、英語を言語として意識し始める。 英語を聞き取り、自分の判断で表現する間に、英語のルールを発見しようとするようになる。 生活経験が多様になることに合わせて、英語で表現しようとする。 英語の文字認識が進み、書いてみたいという気持ちが強くなる。</p>
<p>5年生 ----- r2000&gt; p500</p>	<p>Q&amp;Aで、英語を使い合う機会を作る 高学年に適した歌・ライムを楽しむ 早口言葉で、英語らしい音について意識させる テキストの英文を教師と一緒に読む 4年生で経験した英文のルールに気づき、音読をする 辞書で意味を調べる</p>	<p>英字新聞天気予報 英字新聞スポーツ記事 辞書は電子辞書ではなく、紙媒体のカタカナで発音表記をしてない英和辞書を使う。 他教科の題材を活用する。</p>	<p><i>Action 2</i> : 【4年生で学習した内容を復習しながら語彙を増やす】 <i>Action 3; L.26</i> まで: 【形容詞の語彙を増やし、表現内容を豊にする】 <i>Workbook 2, 3</i> <i>WORD BOOK</i></p>	<p>自分で考え、判断し、既習の英語表現を使って、自分の知っていることを表現しようとする。 英語独特の音の流れに注意を払うよう導く。 初歩的な文法の誤りに気付くようになる。 テキストなどの英文を朗読する面白さを体験させる。 <i>WORD BOOK</i>を活用することで、英語を使い合う力を伸ばすことができる。</p>

<p>6年生 ----- r2500&gt; p700</p>	<p>教師がテキストのお話を読むのを聞きながら黙読する テキストのお話を自力で朗読する 早口言葉を読んで言う ストーリー性のある、少し長いわらべ歌を朗唱し、その文字化されたものを読む 辞書で単語を調べる クイズ形式で、説明文を聞き取り、答えることに慣れさせる</p>	<p>英字新聞の興味ある記事 マザー・グースのわらべ歌 英和辞書</p> <p>◆各レッスンの内容を応用発展活動につなげるために、他教科の教科書や資料集を有効に使いたい。 ◆図書室にある図書(伝記、図鑑、写真集など)も活用したい。</p>	<p><i>Action 3</i>; ~L.30 【英文の意味を考えながら読み、自己表現につなげる。動詞の語彙を増やす】 <i>Action 4</i> : 【L.40まで、ストーリー性のある内容になっているので、朗読を楽しむ。】 <i>Workbook 3, 4</i> <i>WORD BOOK</i></p>	<p>好きなものを選んで、5~7の英文を使って説明することができる。 英語らしい発音に気をつけて歌う。 テキストのストーリー部分を表情豊かに朗読する。 過去や未来時制、助動詞+動詞の表現も経験すると、より真実味のある内容を伝えられるようになる。 既習の文に倣って、自己紹介を口頭で、また作文で伝えられる。 初めて見た英文の中から既知の単語を探し、大意をつかもうとする。 <i>WORD BOOK</i>を使いこなすことから、学校行事など日常の出来事に発展させて、英語を使い合うことができる。</p>
<p>中学1年生 ----- r 3000 &gt;p 1000</p>			<p>検定教科書</p>	<p>小学校英語で経験した英語の語法を確認する。 正確に読む。 正確に書き写す。 新しい内容を、英語のルールに従って口頭で表現し、作文する。</p>